

奈良県中央卸売市場の再整備

(市場と一体となった「食」をテーマとした新たな賑わいゾーンの創出)

【担当省庁】 内閣府

奈良県の中央卸売市場再整備の考え方

〔事業の位置づけ〕

奈良県では、大和平野中央の磯城郡3町とともに、雇用の場の確保等に取り組む「大和平野中央プロジェクト」を推進しているが、大和平野中央地域の周辺地域に所在する中央卸売市場の再整備も、当該プロジェクトと連携して双方の事業の効果を向上させる事業として位置付けている。

〔基本方針〕

- 老朽化した県中央卸売市場を再整備し、卸売機能の効率化・高機能化を図るBtoBエリアとともに、市場の立地を活かした「食とともに文化・スポーツを楽しむ」華やかで賑わいのある複合拠点となるBtoCエリアを一体的に整備する。
- 市場エリア(BtoB)は、市場機能の高度化や食の安全・安心に必要となる施設整備を行い、食品流通拠点としての施設充実を目指す。
- 市場の機能を活用し、市町村とも連携しながら、魅力ある農業水産物の提供を行う。
- 賑わいエリア(BtoC)は、県民や観光客が、食とともに文化・スポーツを楽しめるよう、フードホール、佐保川河川テラス、広場、遊園地、多目的ホール、宿泊施設を整備する。
- 京奈和自転車道を利用した「まほろば健康パーク」との連携、佐保川沿いの空間を活用した音楽や演劇の提供など市場施設の外の活動との一体的活用を進める。

〔整備の進め方〕

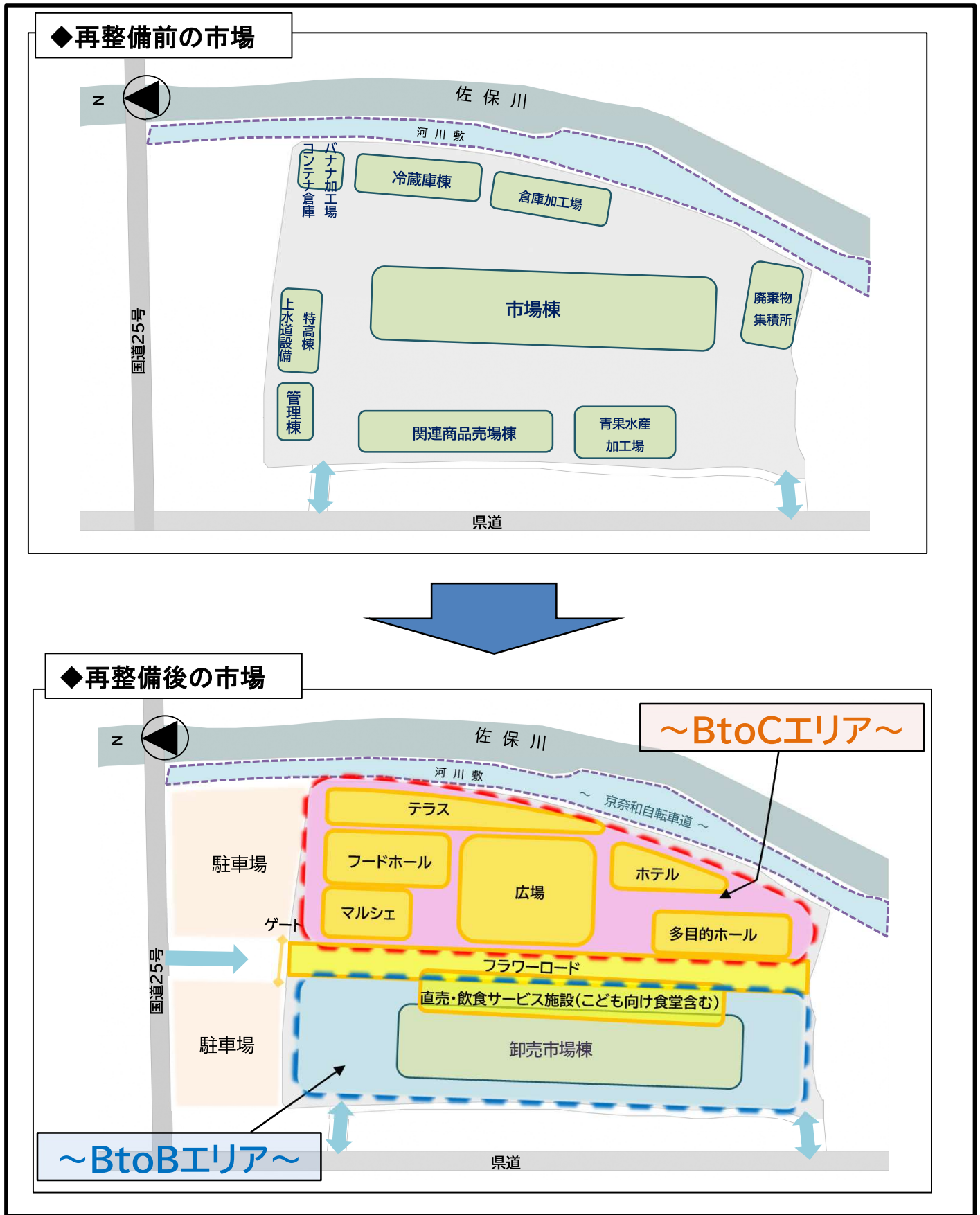
- ①中央卸売市場再整備に関する基本方針(令和3年12月)を策定する。
- ②市場事業者と中央卸売市場再整備に関する基本協定(令和3年12月)を締結する。
- ③市場エリア(BtoB)及び賑わいエリア(BtoC)の整備事業者の募集を令和4年度を目処に一括して行う。

国にお願いすること

中央卸売市場の再整備に対し、「**地方創生拠点整備交付金**」の予算確保及び**事業採択**をお願いしたい。

● **中央卸売市場の再整備**は、フードホール等賑わい施設を整備し、**官民協働で地域の賑わいを創出**することで、**観光・農林水産業を振興し、雇用を創出**する重要な取り組みであることから、**地方創生拠点整備交付金の交付**をお願いしたい。(令和4年度から事業者公募、基本設計・実施設計を行うことを予定)

【中央卸売市場再整備のイメージ】



京奈和自転車道ルート of 賑わい連携イメージ

【中央卸売市場(BtoC)河川空間イメージ】

奈良県中央卸売市場



【まほろば健康パーク周辺(佐保川空間)イメージ】

奈良県中央卸売市場

まほろば健康パーク

京奈和自転車道

中央卸売市場～まほろば健康パーク(1.7km)



橋梁と賑わいのイメージ